

「2018年度関西総合物流活性化モデル」の認定結果について

「2018年度関西総合物流活性化モデル」の認定結果について

【関西総合物流活性化モデル評価委員会 結果概要】

○日時、場所

平成31年2月26日(火) 10:00～11:30

(於関西経済連合会会議室(中之島センタービル))

○選定委員 <敬称略>

委員長	関西学院大学商学部 教授	伊藤 秀和
委員	国土交通省近畿運輸局 交通政策部 計画調整官	米田 一彦
〃	国土交通省大阪航空局 空港部 空港経営改革調整課長	幸松 和明
〃	国土交通省近畿地方整備局 港湾空港部 地域港湾空港調整官	久保 まり
〃	(公社)関西経済連合会 地域連携部長	西村 和芳



○結果(認定件数:1件)

モデル名	事業者	概要
①阪神港-東瀬戸内/内航 フィーダー強化事業	(株)ユニエツクス	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸港-水島港と神戸港-伊予三島港の2航路を499型船各1隻ずつ配船、運行し、東瀬戸内(伊予三島以東)～阪神間の内航フィーダー船輸送サービスの強化、陸送輸送の補完型モーダルシフトを促進する。 ・さらに、水島港、伊予三島港に加え、寄航港(候補:高松、福山、姫路)を増やし(現在検討中)、貨物量を確保することで、本サービスの安定化、更なる阪神港の物流活性化を図る。

○認定のポイント

1. 関西の物流促進効果が見込めるか
2. 独自性の高い、あるいは先進的な取組であるか
3. 事業の遂行能力があり、継続性が見込めるか
4. 事業の実施体制が適切か

○委員からの主な意見

- ・安定性・継続性という観点では、問題はないと思われる。先進性、独自性という観点では、少し低くなっているが、認定としては問題はない。
- ・現行の形態での活性化モデルの募集は難しくなっているのではないかと。最近の応募内容を見ると、対象企業が物流企業への輸送サービスの提供がメインとなってきており、ビジネスの大きさを考えるとアイデアが難しいと感じている。もう少しビジネスの大きさを越境物流や高付加価値サービス等で考えるなどすれば話が違ってくるのではないかと。今の枠組みでは、新規性、独自性にも限界があると思われる。

【会社概要】

社名 株式会社ユニエックス

本社 〒140-0014

東京都品川区大井1-28-1 住友不動産大井町駅前ビル

http://www.uni-x.co.jp/

申請者 〒650-0024

兵庫県神戸市中央区海岸通1-1-1 神戸郵船ビル

TEL 078-392-6666 (営業開発グループ)

設立 1989年



【モデル概要】

阪神港-東瀬戸内(伊予三島/水島)間の内航フィーダーサービスを2019年2月より、舢舨(バージ)船から499型内航船に切り替え、神戸-伊予三島、神戸-水島間のシャトル便運航とし、

①東瀬戸内～阪神港間の内航船舶輸送力強化。

②陸上輸送の補完としてのモーダルシフト促進。

を主目的とした、内航コンテナフィーダー事業を強化する。

さらに、現在、既存の伊予三島港、水島港に加え、東瀬戸内～阪神間の寄航港を増やす(候補:高松、福山、姫路)ことを検討しており、貨物量を確保することで、本サービスの安定化、また阪神港の更なる物流活性化を図る。

【関西地域の物流促進に寄与する点】

・阪神港と東瀬戸内のフィーダー船サービス強化により、阪神港の取扱い貨物量拡大し、物流活性化に貢献。

【事業の独自性や先進性】

①近距離輸送における船舶輸送の導入

本来トラックが主体の輸送範囲である東瀬戸内以東-神戸間の近距離の橋や有料道路で整備された地理的ハンデのない地域に船舶輸送(1区間シャトル便運行)を導入することで、トレーラー輸送の補完型モーダルシフトを図る。

②陸送補完型モーダルシフトの促進

昨今のドライバー不足等の課題を踏まえ、全てをシフトするのではなく陸送輸送の不足のみ補完し、またBCPとして海上輸送モード確保。

③内航フィーダー輸送とインランドコンテナデポとの連携

姫路インランドコンテナデポとの連携によりラウンドユースを促進し物流効率化を促進。

【実施スケジュール】

2019年2月 神戸-伊予三島港/水島港航路

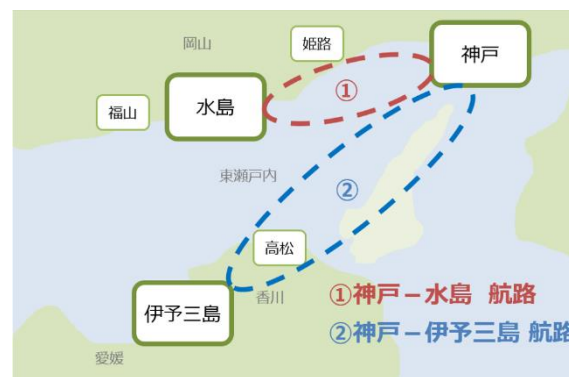
内航船499船による運航開始

4月頃 高松港 寄航(検討中)

8-9月頃 姫路・福山港 寄港(検討中)

事業概要(図)

■航路図



[多港寄航化の可能性(検討中)]



■配船スケジュール(2~3回/週 寄港)

	月	火	水	木	金	土	日
ROOP 1	神戸	水島	神戸	水島	神戸		(水島) ※1
ROOP 2	神戸	伊予三島	神戸	伊予三島	神戸	(伊予三島) ※1	

- ・シャトル便配船(陸送補完型)
- ・配船スケジュール精度向上・安定化

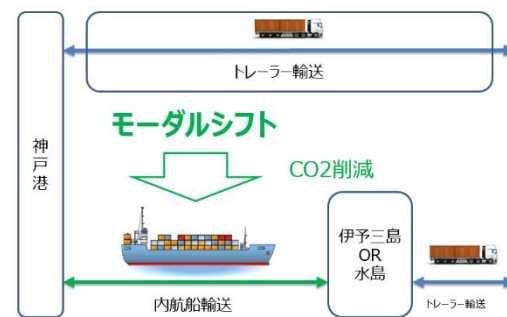
※1 物量に応じて増便対応

■499型船の特徴

速度	10.5ノット
重量トン数	1600トン
積載可能コンテナ本数	最大72TEU 実入(20t/本):72TEU 空(2.5t/本):72TEU
特徴	総トン数が499トンの船舶、内航海運における代表的な船型。199型と499型の2つの船型で内航船の5割弱を占める。



■内航船輸送へのモーダルシフト



■姫路インランドコンテナデポとの連携

